

令和6年12月19日

LINE アンケート集計結果

今回のテーマは「防災について」でした。

今年1月に能登半島地震が発生し、石川県では9万戸以上の住宅が浸水・破損するなど甚大な被害がもたらされました。また、8月には南海トラフ地震の臨時情報が発表されるなど、災害に対する日頃の備えについて改めて見直された人も多いのではないのでしょうか。

そこで今回、皆さんに防災についての意識調査を行いました。

いただいたご意見は、広報紙1月号の防災特集で紹介する予定です。

- ◆「友だち」登録者数      11,027 人
- ◆アンケート実施期間      令和6年11月9日(土)～13日(水)
- ◆回答者数                  523 人
- ◆担当課                      秘書広報課（電話 0774-64-1320）

※各設問のNは、設問に対する有効回答数を意味します。

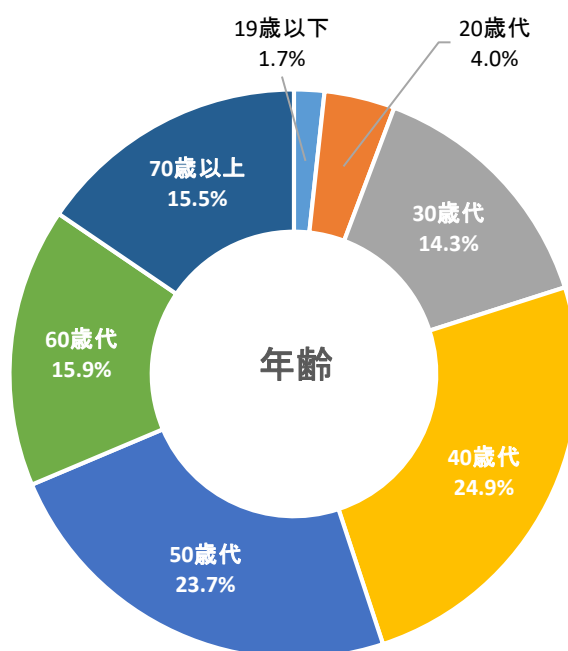
※割合(%)は小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、択一式の回答は合計が100%にならない場合があります。

※複数回答の設問は、割合の合計が100%を超える場合があります。これは、回答総数ではなく、有効回答数を分母としているためです。

※本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、語句を簡略化し表示しています。

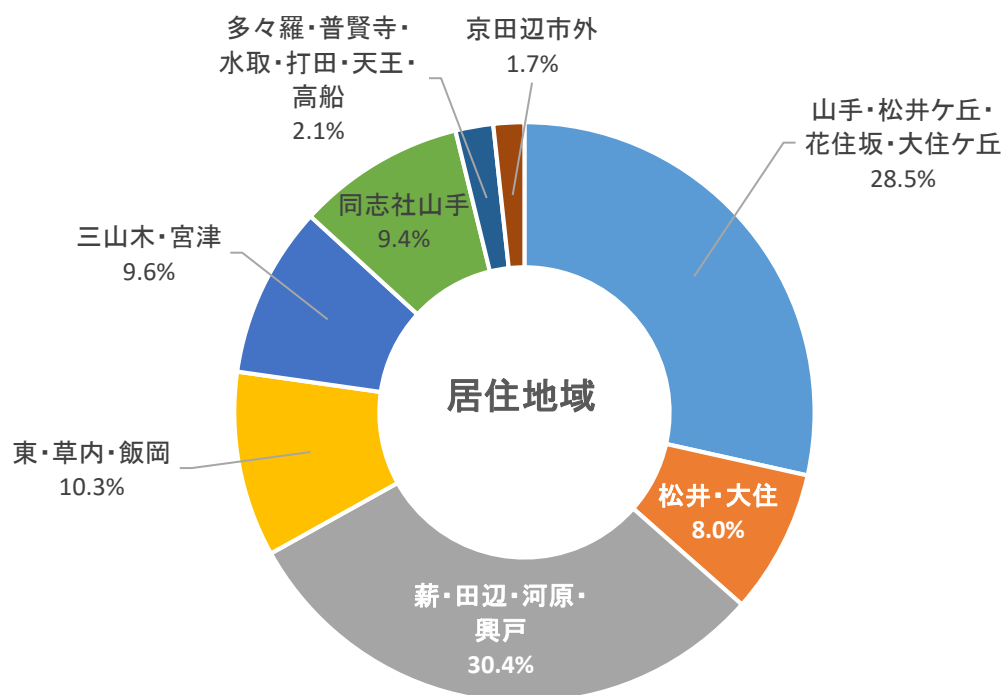
Q1 あなたの年齢を教えてください。

[択一選択・N=523]



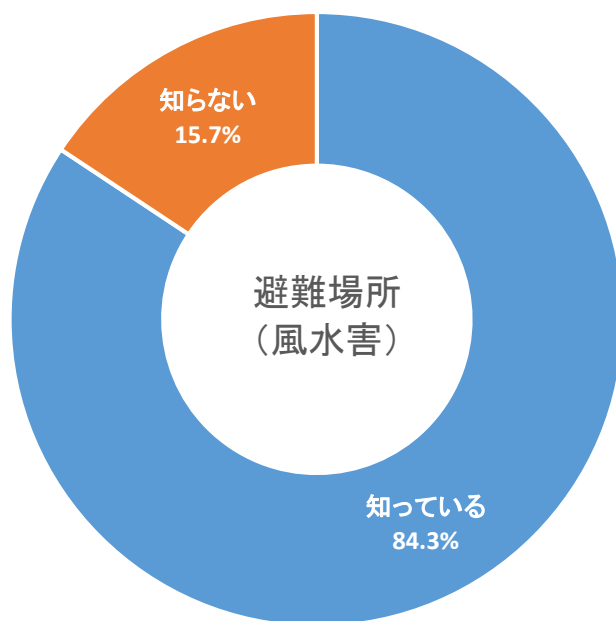
Q2 お住まいのエリアを教えてください。

[択一選択・N=523]



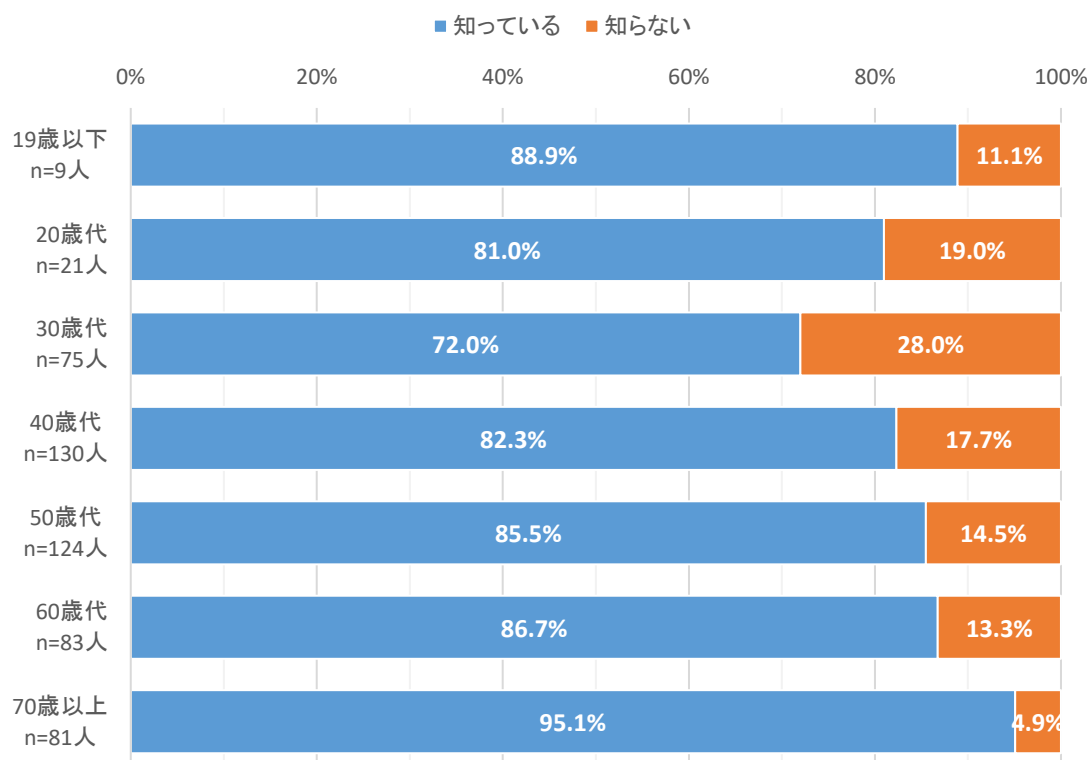
Q3 あなたの地域の指定避難所(水害時)を知っていますか？

[択一選択・N=523]



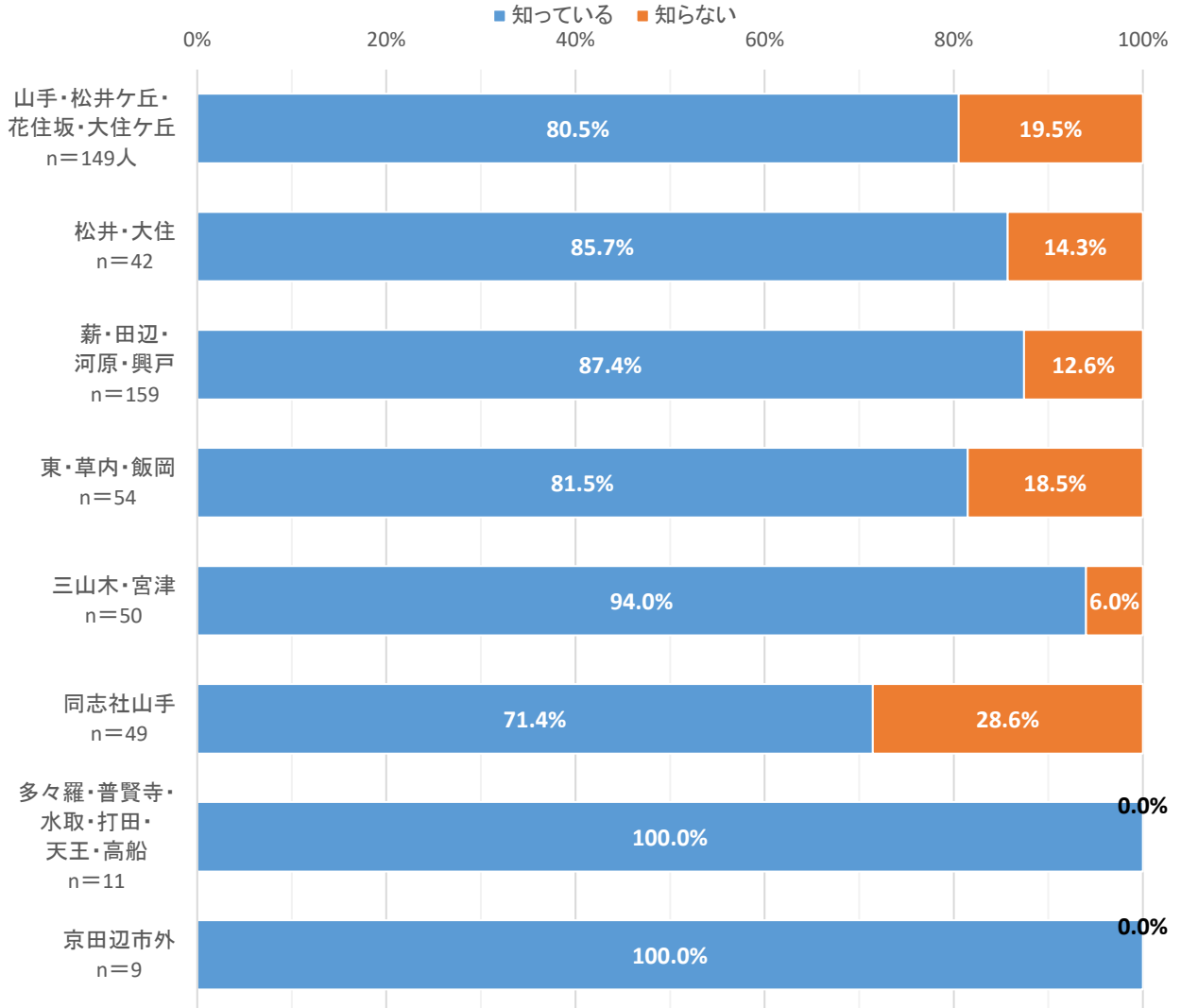
【年齢別の内訳】

あなたの地域の指定避難所  
(水害時)を知っていますか？



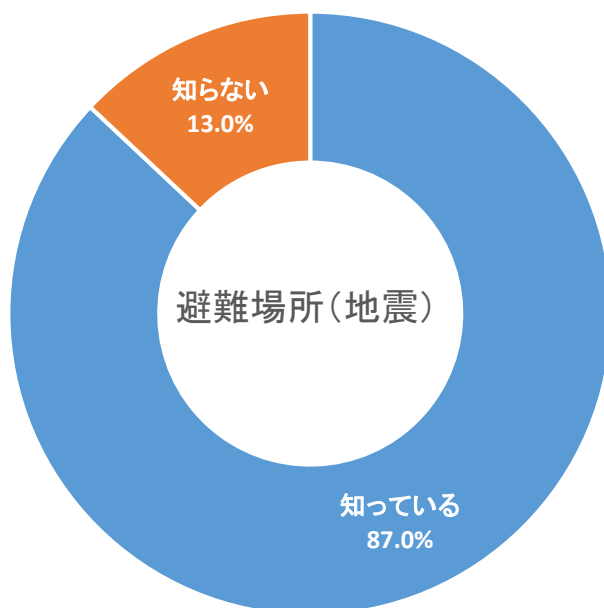
【地域別の内訳】

あなたの地域の指定避難所（水害時）  
を知っていますか？



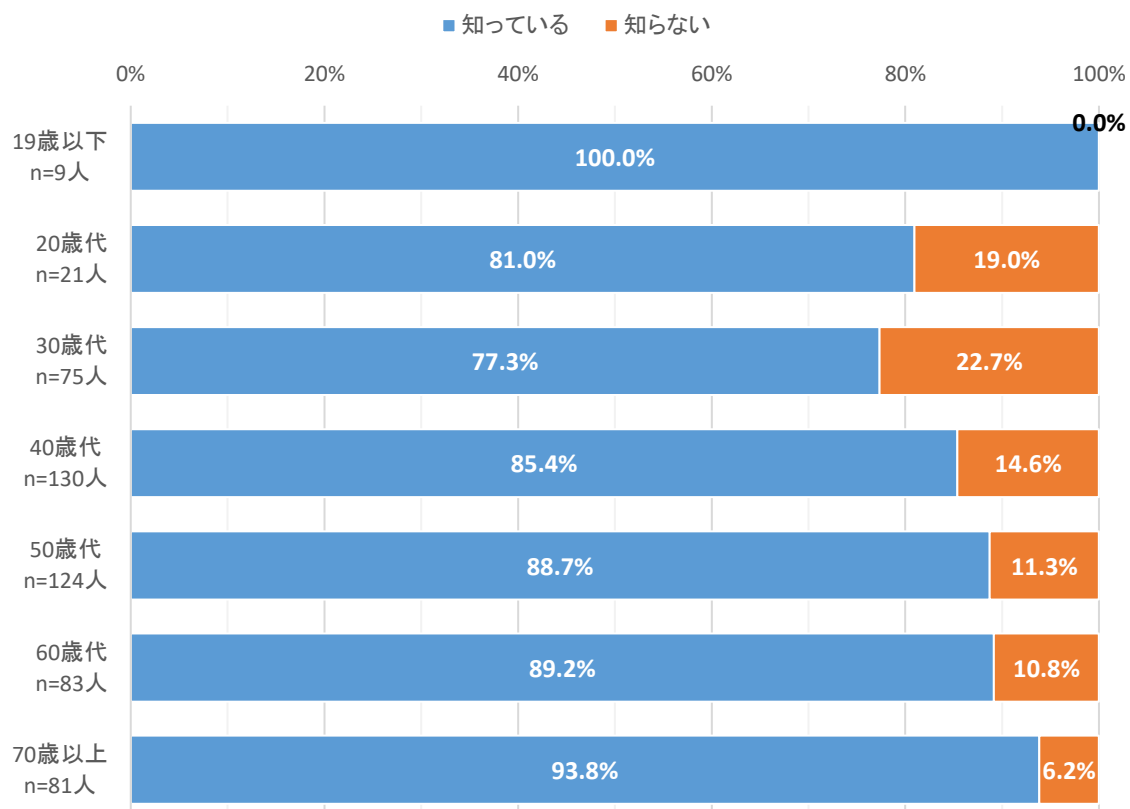
Q4 あなたの地域の指定避難所(地震時)を知っていますか？

[択一選択・N=523]



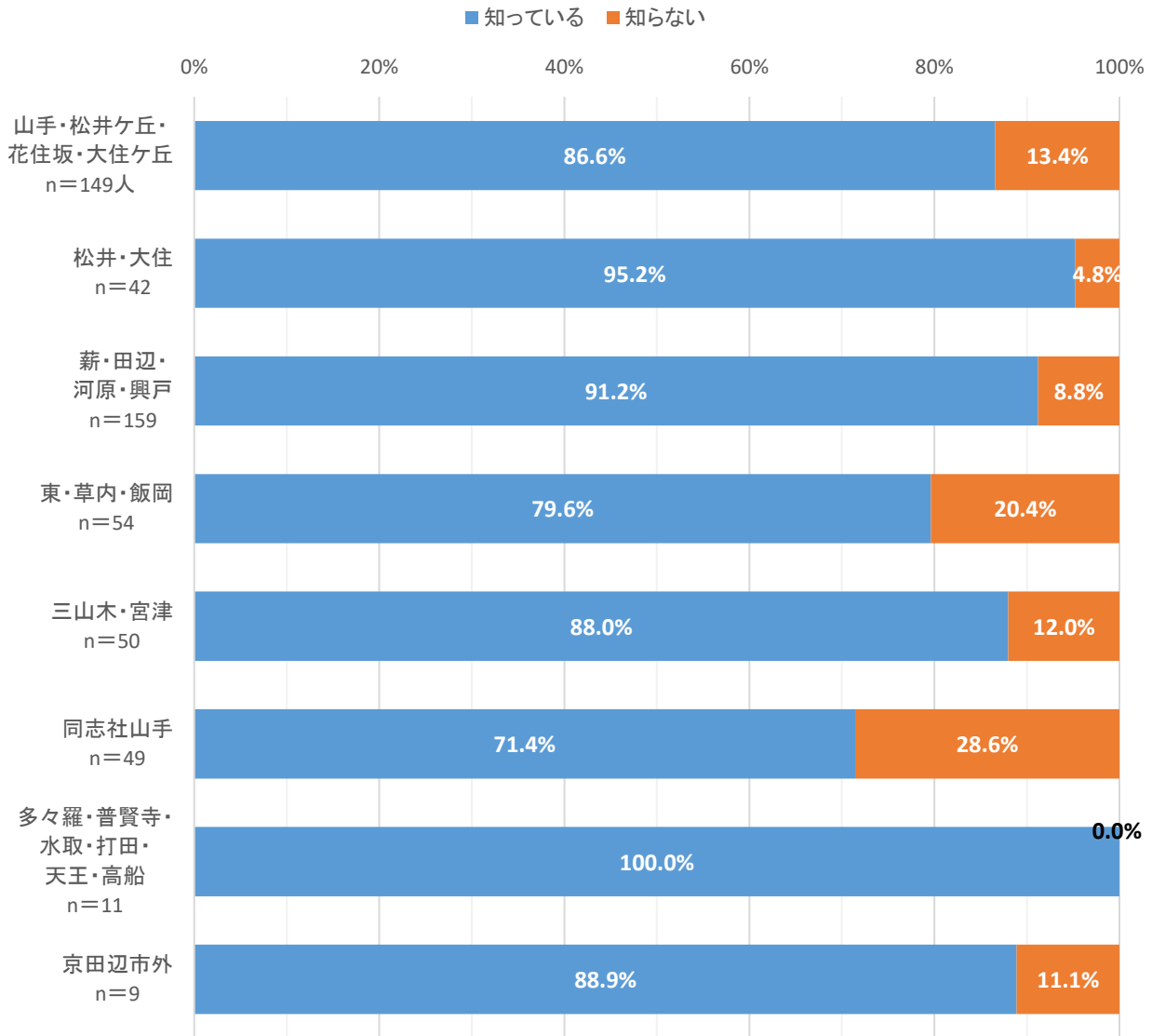
【年齢別の内訳】

あなたの地域の指定避難所  
(地震時)を知っていますか？



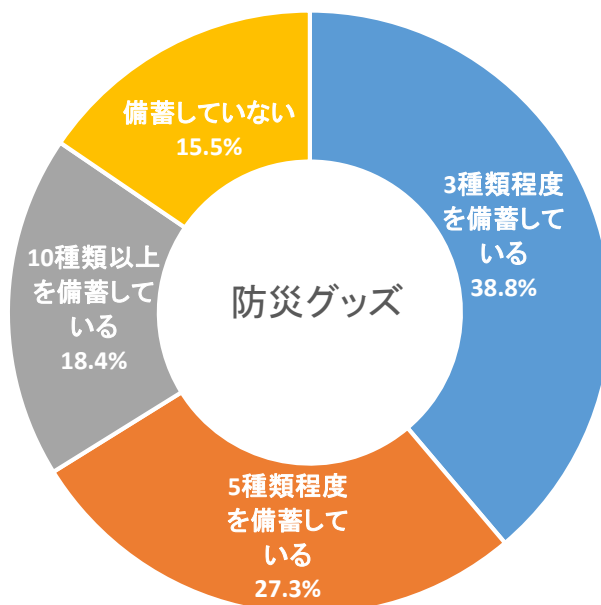
【地域別の内訳】

# あなたの地域の指定避難所(地震時)を知っていますか？



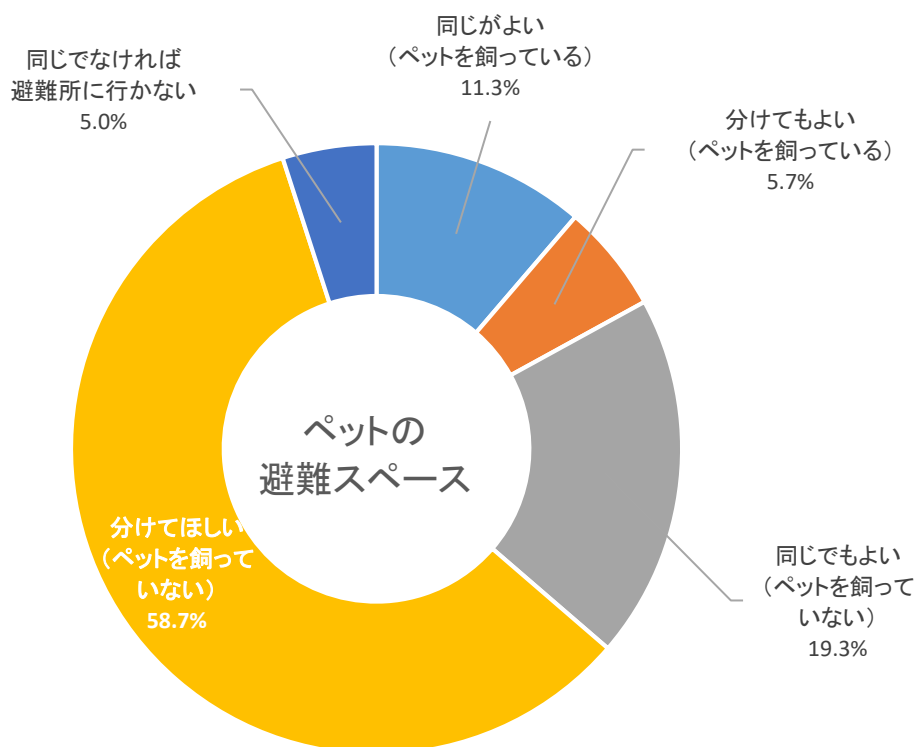
Q5 備えている防災グッズ(水・食料・懐中電灯・簡易トイレ等)を教えてください。

[択一選択・N=523]

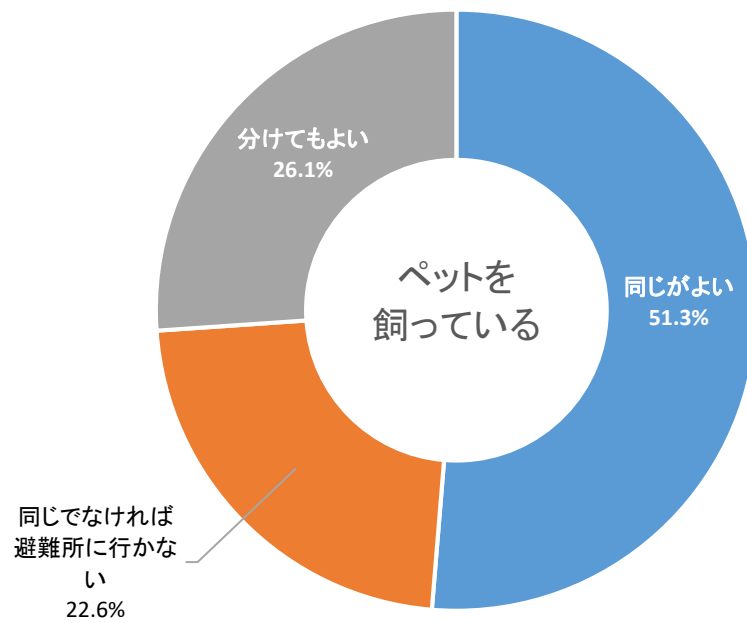


Q6 市避難所では人とペットのスペースを分けています。人とペットの避難スペースについてあなたの考えに近いものを選んでください。

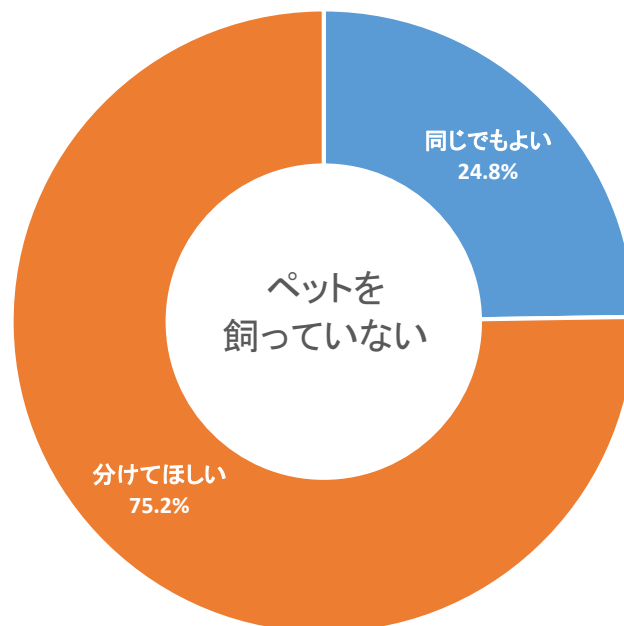
[択一選択・N=523]



【ペットを飼っている人の内訳 (N=115)】



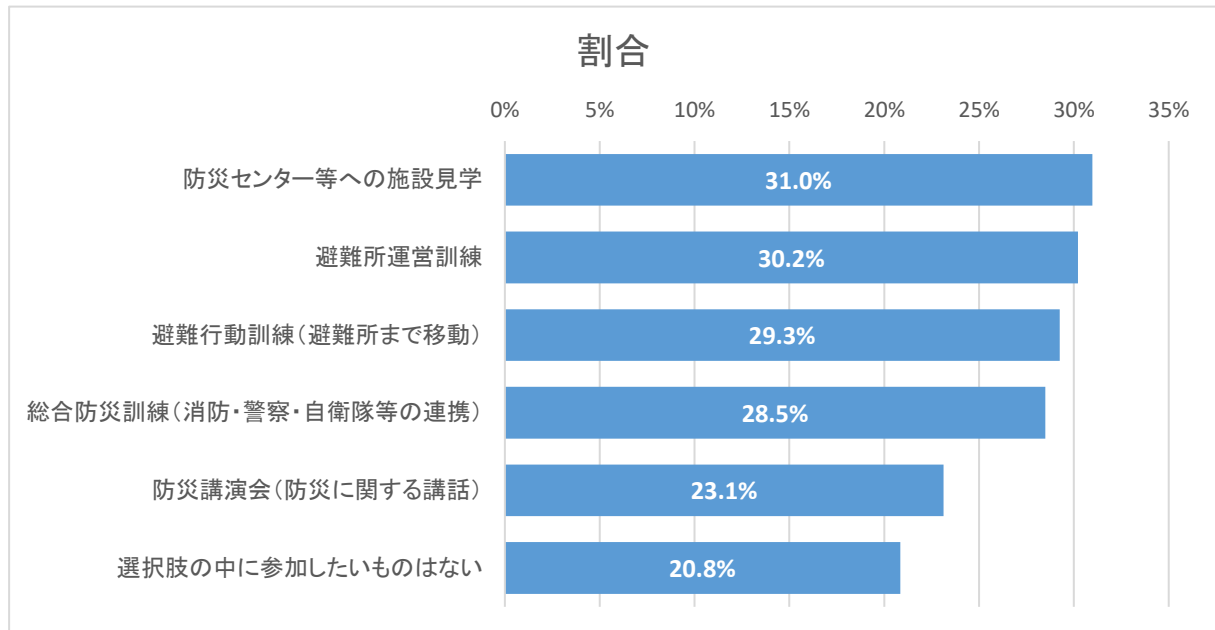
【ペットを飼っていない人の内訳 (N=408)】





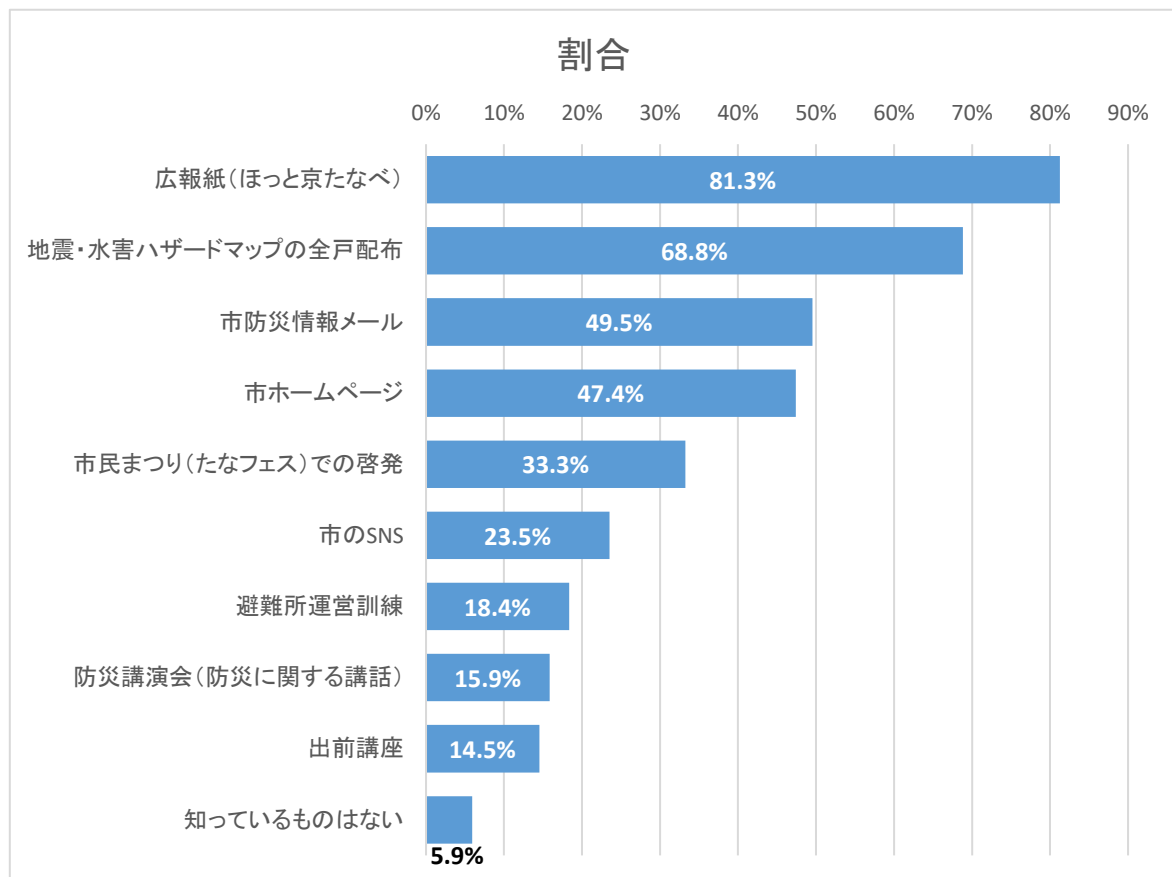
Q7 参加してみたい防災訓練・防災教育について教えてください。

[複数選択・N=523]



Q8 市では様々な機会を通じて防災啓発を行っています。市が取り組んでいる内容で知っているものを選んでください。

[複数選択・N=523]



Q9 防災についてのご意見を自由にご記入ください。

[自由記述・抜粋]

【意見など】

- ・ たなフェスで防災用品を配ってくれるのはありがたい。どういうものを揃えればよいか参考になった。
- ・ 給水車の場所などの情報は SNS を活用して早めに発信してほしい。
- ・ 緊急時の手当・救命の方法や袋での炊飯の仕方など防災に役立つ小冊子を配布してもらえたら助かる。
- ・ 避難所にマットやおむつ、アレルギー対応の食料なども備蓄しておいてほしい。
- ・ 避難所のトイレの数を増やしたり、冷暖房を使えるようにしてほしい。
- ・ 大きな被害が出ないような地盤・河川などの環境整備など、個人で対応できないことをしてほしい。
- ・ 市でどのくらい食料を備蓄しているのか、現在の人口に対して何日分になるのかを試算したデータや、避難所ではテントや仕切りなどのプライバシーを守る備品があるのか知りたい。
- ・ 被災したときにどのような生活になるのか想像できるような情報がほしい。
- ・ 赤ちゃんを連れての避難がイメージできない。授乳や夜泣きの対応をどうすべきか知りたい。
- ・ 在宅避難をするときにどのような行動をとれば良いか、食料の配布などの支援が受けられるのか知りたい。
- ・ 高齢者や障がいのある家族と暮らしているので、避難所まで行けるのか不安。
- ・ 家から避難所まで遠いので、災害が起こったときに避難できるか心配。
- ・ 避難所の数が少ないように思う。公民館などでも避難できるようにしてほしい。
- ・ 小学校などが避難所になっているが、収容人数が心配。
- ・ 子どもと別々の場所(保育園・幼稚園・小学校など)にいたときに被災した場合、避難所などで会えるのか心配。
- ・ 高齢の家族やペットと避難すると、普段飲んでいる薬の管理などいろいろ大変だと思うので、避難所に行くのをためらってしまう。
- ・ 避難所運営訓練などを小学校のカリキュラムに組み込み、授業参観後に親子で参加してもらえば良いと思う。
- ・ 防災訓練などにも参加したいが、仕事があつてなかなか参加できない。
- ・ アンケートを通して、避難所までの経路確認や非常食の準備など一人一人の備えが大切だと改めて認識した。

- ・ あまり災害のない地域のため、他人事のように感じる。防災グッズを家族分・数日分備えると量も多く、費用もかかるので、必要性は感じるが備蓄できていない。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

いただいたご意見は、広報紙1月号の防災特集で紹介する予定です。